

千代田区立お茶の水幼稚園



園 長 伊藤 栄司
副 園 長 平 典子
わかば会会長 中村 優子

郵便番号 102-0071
所在地 千代田区富士見1-1-6
電 話 3263-2355
F A X 3263-2356

最寄り駅：JR線、都営大江戸線、営団東西線・有楽町線・南北線：飯田橋駅
都営新宿線、営団半蔵門線・東西線：九段下駅

I 教育の概要

1 幼稚園・地域の特色

園児数28名の中規模園である。一人一人の個性を伸ばせるようチーム保育を基本としながら、きめ細かい指導を心掛けている。様々な人々との交流を意図的・計画的に行い、生きる力の基礎を培っている。園庭や裏庭を活用し、自然体験・直接体験を豊富に取り入れ、感性を培う教育を重視している。令和元年度9月より園舎建て替えのため、仮園舎で生活しているが、本園舎のある地域は、書店・スポーツ用品店・飲食店等商業地域で、公共施設も近く交通の便もよい。地元町会の組織がしっかりしており、幼稚園の教育活動に対して協力的である。

2 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

日本の伝統文化と、世界最先端の文化とが融合する神田の町に位置する幼稚園として、人としての基礎である人間力を身に付けさせることで、未来において国際社会や地域社会に貢献することのできる人材の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

明るく 強くたくましく 思いやりをもって 未来を創る人

一人一人に身に付けさせたい力（お茶の水幼稚園の考える人間力）

- ①コミュニケーション力 自分の思いや考えを表現する
- ②情報活用力 考えて行動し、自分の力を十分に発揮する
- ③忍耐力 諦めずに最後までやり遂げる
- ④多様性の尊重 様々な人との関わりを楽しみ、互いのよさを認め合う
- ⑤規範意識 様々な体験を通して、きまりの大切さに気付く
- ⑥体力 主体的にのびのびと体を動かして遊ぶ
- ⑦感性 想像を広げ、豊かに創造したり、表現したりする

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

- 保育者との信頼関係を基盤に情緒の安定を図る中で、基本的な生活習慣や態度を身に付けるとともに、体を動かすことを楽しみ、自分の力で行動しようとする自立の構えや体力の向上を培う。（健康な心と体、自立心）
- 保育の質の向上につながるよう、幼児期における豊かな体験を通して必要な経験が相互に関連し合う保育を展開し、組織的・計画的に評価、改善を図る。また、幼児一人一人の発達の特性と課題を把握し、全職員間（会計年度任用職員含む）で連携しながら、センター的機能の活用も含め、その幼児らしさを十分に発揮できる園生活を保障する。（健康な心と体、社会生活との関わり）
- 幼児一人一人の尊厳を重んじられるよう、多様性を尊重し、保護者との連携を密にしながら、自分の身体の大切さを伝える。さらに、様々な体験を通して、互いのよさを認め合い、社会性や道徳性の芽生えを培う。（社会生活との関わり、道徳性・規範意識の芽生え）
- 友達との生活を楽しみ満足感や充実感を味わう中で、めあてをもって取り組み、自己を十分に発揮しようとする意欲や諦めずに最後までやり遂げる態度を養う。（自立心、協同性、言葉による伝え合い）
- 育てたい資質・能力を地域社会と共有し、地域資源の活用や行事・文化への参加などを通して、伝統文化や地域に親しみがもてるようにする。また、小学校や保育所などの様々な人との交流や遊びの充実を図り、人と関わる経験を重ねる中で、互いの違いやよさを知るとともに、親しみや憧れの気持ちをもてるようにする。（社会生活との関わり、言葉による伝え合い）
- 身近な環境に興味や関心をもって関わり、具体的な活動を通して、知的好奇心や自ら考えようとする力、創造力を育む。（思考力の芽生え、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、豊かな感性と表現）
- 園内外の身近な自然や生き物に触れ、それらの様々な変化に心を動かし、体験を通して豊かな感性や表現力、生命を大切にしようとする心情や態度を育む。（自然との関わり・生命尊重、豊かな感性と表現）

3 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

- (3歳児) 先生や友達に親しみながら安心して過ごし、自分の好きな遊びを見つけてじっくりと取り組む。
- (4歳児) 周囲の環境に自ら関わる中で興味や関心を広げ、友達と一緒に様々な遊びを十分に楽しむ。
- (5歳児) 目的に向かって友達と思いや考えを伝え合いながら協力して取り組み、やり遂げた満足感や達成感を味わう。

- 基本的な生活習慣の自立を促すために、各家庭の実態を踏まえ、一人一人の発達に応じた支援を工夫する。(健康・人間関係)
- 運動的な遊びに対する意欲の向上を図るために、継続的にコーディネーショントレーニングを取り入れ、遊びの中で多様な身体の動きを身に着けられるようにする。(健康)
- 相手に受け入れられる心地よさを積み重ね、自分らしさを素直に表せるよう、ティーム保育を展開する中で、一人一人のありのままの姿や個性を丁寧に理解し、心の動きに応じて共感性をもって全職員で受け入れていく。また、計画的に会議を行い、日々の保育環境の改善や援助につなげると共に、家庭の教育力の向上につながるよう、関係諸機関との連携を図りながら、保護者支援を行っていく。(人間関係・言葉)
- 様々な文化に触れ、多様性の理解につながるよう、様々な国にルーツがある幼児が全学級に在籍する実態を踏まえ、発達に応じて、文化に触れる機会を設けるなど、互いに認め合い、受け入れる機会につなげていく。(環境・人間関係・言葉)
- ◎主体的に環境に関わって遊ぶ力を育むために、発達や学級の実態に応じた環境を整え、興味や関心を引き出す活動につなげていく。(健康・環境・表現)
- 挑戦しようとする意欲、きまりの必要性を自ら考え、気付く力を養うため、諦めずに取り組む過程を支え、自分なりのめあてに向かう喜びを感じられるようにする。(健康・人間関係)
- 茶道・新内節・木遣り・獅子舞・地域の祭りなど、日本の伝統・文化に触れる機会を設け、地域の力を活かし、幼児が伝統や文化に主体的に関われるようにする。(環境・人間関係・表現)
- 幼児が絵本に親しみ、様々な表現や言葉の面白さを感じられるよう、本の街である地域の特色を生かし、園内の読み聞かせの充実や、講師の招聘を通して、家庭での読み聞かせの機会が広がるような発信の工夫をしていく。(言葉・表現)
- 友達と一緒に遊びや生活を楽しみ、友達のいろいろな表現に触れる中で、自分とは異なる様々な考えに触れ、自分の考えや表現の方法を広げていけるよう、共通のめあてに向かって取り組む活動を意図的・計画的に実施する。(人間関係・言葉・表現)
- 季節ごとの自然や人間の生活の変化に気付き、関心もてるよう、身近な自然環境を整えるとともに、徒歩遠足などを計画し身近な公園の自然に触れたり自然物を遊びの中に取り入れたりして、直接的な体験が充実していくよう工夫する。(環境・表現)

(2) 環境の構成

- 基本的な生活習慣・食育・運動的遊びなどの健康や体力向上に対する意識を高めるために、小学校の養護教諭・栄養士・外部講師と連携し、健康教育を推進する。
- 幼児が体を動かすことの楽しさを感じ、日常的に自ら進んで運動遊びに取り組めるよう、外部講師を活用し、様々な体の動きや、新たな遊びをきっかけにして、日常的な運動的な遊びをより楽しめるようにする。また、校庭や体育館、オープンルームや玄関ホールなどの場の特徴を活かした遊びを意図的・計画的に行う。
- ◎全学年が単学級であり、小規模の園であることを踏まえ、保育室の配置を横並びに変え、幼児一人一人をより広く深く理解できるようにする。また、園全体で指導の方向が共通になるよう、幼児の実態や園内の場の共有など、日々の職員間の積極的な情報交換を大切にしていく。
- ◎優しく関わってもらい嬉しさや、相手に喜ばれたり感謝されたりする嬉しさなど、人と関わる楽しさを味わい、互いの良さを認め合う機会につなげていく。また、一人一人の自己肯定感や自信につながるよう発達や時期に応じ、異年齢の交流を遊びや行事を通して意図的に行っていく。
- 世界の国々への興味や関心を広げ、国際理解の芽生えを培うために、外国人講師や図書館司書と連携して、園内の多国籍な文化を知る機会につなげる。
- ◎幼児が主体的に環境に関わり、自分の力を発揮できるよう、発達段階に即した遊びの工夫に努めるとともに、学年間での伝承も意識していく。
- 日本古来の行事や芸術に親しみをもち、感性豊かな心を育むために、「学校2020レガシー」として位置付け、お茶会や新内節等、伝統行事や季節行事を計画的に実施する。事前事後の

指導を工夫し、礼儀作法やおもてなしの心など、豊かな体験ができるようにする。

- 幼児が想像力を豊かにし、様々な言語表現活動につながるよう、多様な興味、関心に応じた環境を用意し、絵本や図鑑等により親しみがもてるようにする。
- 自分も友達も大切な存在であると感じ、一人一人の個性を大切にしながら多様な意見を受け止め、互いの良さを認められるよう、一人一人を認め、繰り返し指導をしていく。
- 幼児期に必要な体験活動が担えるよう、ICT機器の活用や行事の実施方法等、活動内容を工夫し、実践をしていく。
- 自然の美しさや生命の尊さに気づき、大切にしようとする気持ちを育むために、裏庭や校庭の身近な自然環境に触れられるよう、プランター等を活用し植物を育て、成長を感じる、動物の世話においては責任をもって行うなどの直接体験が充実するよう工夫する。また、身近な公園への徒歩遠足を計画し、豊かな自然環境の中での気づきや発見から、不思議に思ったことを図鑑やタブレットで調べたり、季節の移り変わりや様々な感情を表現したりできる機会をつくる。

(3) その他

○ 保幼小連携

- ・ 人との関わりを豊かにし、親しみや思いやりの気持ちを育むために、小学校や近隣保育所と年間計画に基づいた交流活動を実施する。実施にあたっては、職員同士の事前事後の話し合いを行い、互惠性のある交流を工夫する。
- ・ 近隣の認証保育所を含めた就学前施設が増える現状を踏まえ、地域の拠点園として併設小学校との連携のもとに就学前教育の充実に努める。

○ 地域や社会とのつながり

- ・ 身近な人々や地域社会への親しみの気持ちが育まれるよう、保護者や地域の方の力を活かすことで、幼児が伝統や文化に主体的に関われるようにする。
- ・ 園が地域と離れている中でも地域の方に園での様子が伝わるよう、ホームページや園だよりの内容を工夫し、地域の町会や児童館などの掲示板を活用しながら情報発信を行う。

○ 安全教育

- ・ 緊急災害時への構えや安全に対する意識を高めるために、所管の警察署や消防署と連携し、避難訓練や安全指導の内容を見直し、多様な状況を想定した訓練を繰り返し行い、安全教育の徹底を図る。
- ・ 幼児の小さな変化を見逃さないよう、様々な家庭背景を捉え、職員で情報共有をこまめに行う。また、自分の身体、生命について発達に応じて理解できるように、絵本など視覚教材を活用しながら繰り返し指導を図る。

○ 家庭との連携・子育ての支援

- ・ 保護者の幼稚園教育への理解を深めるとともに、保護者自身が安定して子育てができるよう、幼稚園公開、行事への参観・参加などを実施する。また、保護者会、学級懇談会、個人面談、学級だより、動画配信など、様々な方法で教育内容や幼児の育ちなどを伝える工夫をし、保護者との相互のコミュニケーションにつなげていく。
- ・ 登降園時における保護者との直接対話が十分には行えないため、バス対応、徒歩対応などのシフトを組んで、各学年の担任が均等に、保護者と直接会えるよう調整する。また、直接会えない保護者にも、その日の活動の様子や園からの情報が伝わるよう、グループウェアを活用し、全保護者に同じ情報が伝わる工夫をするとともに、より保護者に伝わりやすい発信となるよう、写真などを取り入れていく。
- ・ 保護者自身がゆとりをもって子育てに臨めるよう預かり保育日を全曜日、長期休業日の一部に拡張して実施し、支援する。
- ・ 地域の中の幼稚園として、未就園児の会（ひよこタイム）、巡回アドバイザーやスクールカウンセラーとの相談会、外部講師を招いての講演など、保護者同士の関係作りや親育ちのための支援を行う。

○ 特別支援教育

- ・ 一人一人の発達や個性に応じた指導を行うために、巡回アドバイザーやスクールカウンセラー、センター的機能の活用、医療機関やさくらキッズ等の関係諸機関と連携し、情報と指導方針の共通理解を図り、全職員の指導体制を整えていく。
- ・ 学期ごとに巡回アドバイザーを交えた特別支援教育支援員打合せを行う。また、学年会を定期的に設け、教育支援シートに沿った支援を行えるよう、特別支援教育コーディネーターや特別支援教育専門員を中心に支援体制を整え、職員間の共通理解を図る。

○ 園内研究

「遊びが充実するための環境の工夫」～異年齢児保育を支える保育者の援助～

4 一日の保育時間

3 歳 児	4月10日～4月11日	8:50～11:00	水曜日・土曜日 全学年 11:30降園
	4月12日～5月8日	8:50～11:30	
	5月9日～5月22日	8:50～13:00	
	5月23日～3月19日	8:50～14:00	
4 歳 児	4月7日～4月10日	8:50～11:30	
	4月11日～3月19日	8:50～13:50	
5 歳 児	4月7日～4月10日	8:50～11:30	
	4月11日～3月18日	8:50～13:50	

5 年間行事計画

4月	始業式、入園式、定期健康診断始 全体保護者会、学級懇談会(全)、個人面談(希望制)、 内科検診、耳鼻科検診、離任式	5月	こどもの日の集い、徒歩遠足(5歳児 北の丸公園)、 コーディネーショントレーニング、歯科検診、 眼科検診、遠足(4・5歳児 新宿御苑)
6月	うっちー先生と遊ぼう、一斉清掃日、 コーディネーショントレーニング、 あじさいの茶会、園公開、個人面談、 遠足(4・5歳児 行船公園)、水遊び指導始、 定期健康診断終	7月	学級懇談会(全)、七夕の集い、 わくわく縁日(ひよこタイム)、終業式、夏季休業日、 夏季休業中預かり保育(7日間)、
8月	夏季休業日、夏季休業中預かり保育(6日間)	9月	始業式、水遊び指導終、全体保護者会 遠足(全園児 しながわ水族館)、敬老の日の手紙投函、 お月見の日の集い、幼小運動会
10月	徒歩遠足(3歳児 北の丸公園)、ふれあいスポーツ デー、遠足(4・5歳児 芋ほり)、秋季歯科健診、 徒歩遠足(4・5歳児 北の丸公園)	11月	遠足(4・5歳児 上野動物園)、一斉清掃日、 学習発表会、就園時健康診断、合同子ども会、 個人面談(5歳児)、みのりの茶会、 遠足(全園児 新宿御苑)、新内節鑑賞
12月	こども劇場、学級懇談会(全)、 うっちー先生と遊ぼう、終業式	1月	始業式、獅子舞・木遣り鑑賞、鏡開き、全体保護者会、 個人面談、初釜の茶会、連合作品展
2月	うっちー先生と遊ぼう、節分の集い、桃の茶会、 開園記念の集い、園公開、音となかよし、 新入園児保護者会、学級懇談会(5歳児)、 園内オリエンテーリング	3月	ひなまつりの集い、学級懇談会(3・4歳児) 全体保護者会、お別れ会、修了式、終業式

毎月実施する行事・・・避難訓練、安全指導、発育測定、誕生会、図書館司書読み聞かせ(おはなしのくに)

定期的に行う行事・・・保育園・小学校との交流、国際教育、未就園子育て支援(ひよこタイム)

Ⅱ 現 況

1 園舎施設・規模一覧

現園舎	起工	竣工	保育室	保育室(4) 遊戯室兼保育室(1)
園舎構造	鉄筋		職員室	職員室(1)
園舎面積	537 m ² (園舎面積は施設台帳による)		その他の室	教材室(1)
遊び場	小学校校庭共用			

2 組編成

年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計
3歳	ちゅうりっぷ	3	8	11	4歳	ばら	2	5	7	5歳	ひまわり	5	5	10
										合計		10	18	28

3 所在地



住所

千代田区富士見1-1-6

電話 03(3263)2355

FAX 03(3263)2356

最寄り駅

JR線、都営大江戸線、営団東西線・有楽町線・南北線：飯田橋駅
都営新宿線、営団半蔵門線・東西線：九段下駅

Ⅲ 沿革の概要

昭 23. 5. 5	千代田区立錦華幼稚園を錦華小学校内に併設開園	昭 6. 7. 15	小川幼稚園を東京市小川尋常小学校に併設開園	昭 21. 4. 8	千代田区立西神田幼稚園を西神田国民学校に併設開園
昭 27. 7. 19	錦華公園内に平屋建て園舎新築	昭 18. 5. 31	都制施行により東京都小川幼稚園と改称	昭 26. 12	人形劇研究発表
昭 33. 4. 1	園旗制定	昭 19. 5. 31	戦時非常措置により一時休園	昭 31. 11. 8	創立 10 周年記念式典挙行
昭 33. 11. 5	創立 10 周年記念式典挙行	昭 22. 4. 1	千代田区立小川幼稚園と改称	昭 33. 4. 1	3 歳児保育始
昭 40. 11. 6	小学校講堂改築にとまない、新園舎落成	昭 22. 5. 7	再開園	昭 39. 3. 6	幼児番組視聴協力園研究発表「TV 視聴と保育」
昭 49. 11. 14	第 25 回放送教育研究全国大会研究発表	昭 33. 4. 1	3 歳児保育始	昭 44. 3. 4	創立 20 周年記念式典挙行
昭 52. 10. 1	園歌制定	昭 36. 5. 5	幼稚園完全給食始	昭 46. 12. 9	区研究協力園研究発表「幼稚園における基本的な生活習慣の育成」
昭 53. 10. 7	創立 30 周年記念式典挙行	昭 36. 11. 25	創立 30 周年記念式典挙行	昭 51. 10. 21	区内幼稚園に公開保育
昭 55. 2. 5	区内幼稚園に公開保育	昭 37. 11. 7	区研究協力園研究発表「教育課程」	昭 51. 12. 11	創立 30 周年記念式典挙行 園歌・園旗制定
昭 55. 4. 1	3 歳児保育始	昭 45. 11. 25	創立 40 周年記念式典挙行	昭 54. 11. 29	区内幼稚園に公開保育
昭 56. 6. 22	幼児用プール改修	昭 54. 12. 7	区研究協力園研究発表「年齢交差の保育」	昭 61. 10. 4	創立 40 周年記念式典挙行
昭 58. 2. 10	東京都教育委員会研究発表会公開保育	昭 55. 10. 18	創立 50 周年記念式典挙行	平元. 2. 8	区研究協力園研究発表「心もからだも健康な幼児を育てる」
平元 2. 25	創立 40 周年記念式典挙行	昭 60. 6. 20	区内幼稚園に公開保育	平 3. 9. 19	幼稚園トイレ設置
平 2. 11. 6	区内幼稚園に公開保育	昭 62. 2. 3	区内幼稚園に公開保育		
平 5. 1. 28	区研究協力園発表「幼児が自らの遊びを充実していく力の育成」	昭 63. 9	砂場にフレーム設置		
平 5. 3. 3	幼稚園仮園舎新築	昭 63. 12. 2	文部省委託研究「幼稚園教育のあり方についての実践的調査研究」		
		平元. 2. 22	都幼稚園教育研究会研究発表「自ら遊びに取り組む幼児を育てる」		
		平 2. 10. 8	創立 60 周年記念式典挙行		
平 5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立お茶の水幼稚園となる				
平 5. 10. 8	区内幼稚園に公開保育				
平 6. 2. 10	園章・園歌制定				
平 6. 4. 1	教頭職を置く				
平 7. 6. 1	外国人講師による指導始				
平 7. 12. 27	日華教育研究会発表				
平 8. 11. 26	区教育委員会研究協力園研究発表「チャレンジする子どもが育つ」				
平 9. 2. 19	都幼稚園教育研究会研究発表「チャレンジする子どもが育つ」				
平 10. 1. 29	区内保育研究会				
平 10. 12. 24	門扉改修				
平 13. 5. 30	区内保育研究会				
平 13. 12. 7	区教育委員会研究協力園研究発表「人と共に生きる力の基礎を培う」				
平 15. 1. 2	創立 10 周年記念集会・記念室開設				
平 17. 4. 1	副園長職を置く				
平 17. 12. 14	区内保育研究会				
平 19. 1. 22	都研究協力園研究発表				
平 25. 2. 10	創立 20 周年記念式典				
平 29. 1. 19	区教育委員会研究協力園研究発表会「21 世紀を生き抜く子どもの育成」 —オリンピック・パラリンピック教育を通して—(幼小同時)				
令元. 9. 1	仮園舎「椎の木園舎」での生活始				